

# 高田産業株式会社 環境行動計画

平成20年8月1日

## 環 境 方 針

### 基本理念

高田産業株式会社は、グローバルな視野に立って環境保全に努め、自然を育み、環境に優しい企業活動を行う。

### 基本方針

当社のレディーミクストコンクリート製造により生じる環境影響を的確にとらえ、以下の項目について優先的に取り組む。

- ① 生コン製造及びオフィス活動における省エネルギーと省資源
- ② 事業活動により発生する産業廃棄物の削減
- ③ 製造、運搬により発生する騒音の抑制

この方針に基づいて社員一丸となり環境教育を推進し、環境に対する意識、知識の向上を図り、環境に対する法規制、その他要求事項を遵守する。

平成20年8月1日

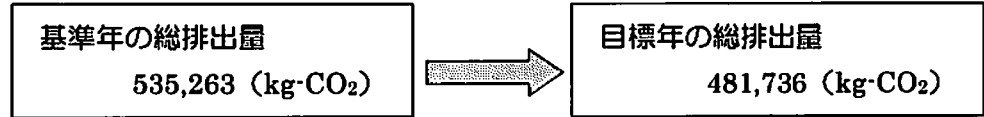
高田産業株式会社

代表取締役 高田直人

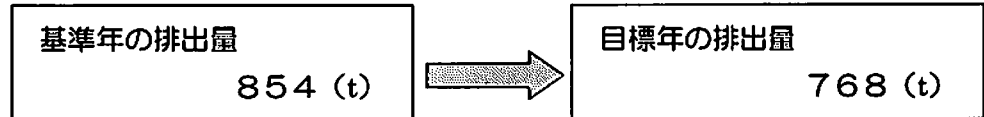
### 3 環境負荷の低減目標

21年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも19年です。)

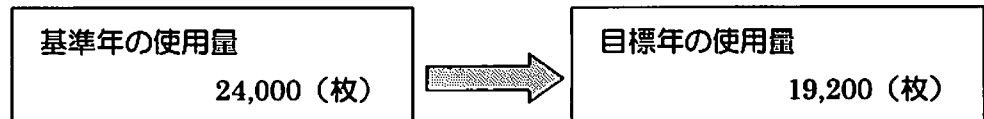
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を10%削減する



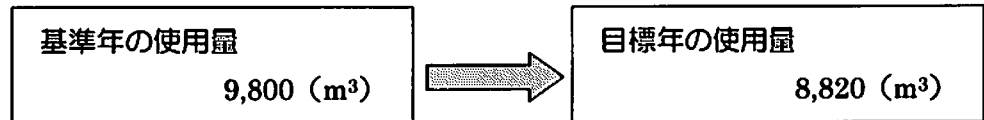
【目標2】 産業廃棄物の排出量を10%削減する



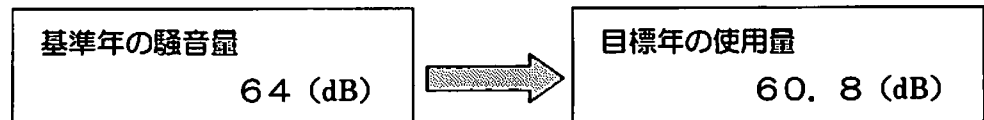
【目標3】 コピー用紙の使用量を20%削減する



【目標4】 地下水使用量を10%削減する



【目標5】 騒音を5%削減する



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造関連)

- ・ 生コン出荷が無い時間帯では、コンプレッサー、照明等の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏等の定期検査頻度を月1回から2週間に1回にあげる。
- ・ 運搬車両の効率的な使用を心掛け、空ぶかし、急発進、急停車を無くし燃費効率を上げる
- ・ 運搬車の過積載は一切しない(4t⇒2.0m<sup>3</sup>、10t⇒4.5m<sup>3</sup>以下)
- ・ 受材ベルトコンベア等の設備の空運転がないよう担当係だけではなく、皆が監視するようにする。
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(事務・営業関連)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する

- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

#### 【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 営業、配車係は現場との連絡打ち合わせを密にし、戻りコン、残コンが発生しないように心掛ける。
- ・ プラントの設備不良などによるミスバッチが発生しないよう設備検査を徹底する。
- ・ 戻りコン、残コンが発生した場合は極力固化させ、リサイクル（路盤材）する。

#### 【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

#### 【取組4】 地下水使用量の削減

- ・ 配管の漏水点検を定期的実施する
- ・ プラントオペレータ及び運転手等に、節水に関する教育を実施し、節水意識の向上を目指す
- ・ 洗車には、回収水を使用するよう徹底する。
- ・ 室内の水道蛇口に節水こまを設置する。

#### 【取組5】 工場敷地境界における騒音の削減

- ・ プラント設備（ミキサー、ベルトコンベア、スクリューコンベア、バケットエレベータ）の定期点検整備を徹底し、騒音発生を防ぐ。
- ・ ミキサー車の空ぶかしを極力しない。
- ・ 夜間出荷は極力しない。

## 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。